

## 宮崎県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

宮崎県は、九州の東南部に位置し、山岳地帯が多く、平地は宮崎平野と西諸県（にしもろかた）・北諸県（きたもろかた）盆地を有しているものの、総面積7,734km<sup>2</sup>のうち5,846km<sup>2</sup>（75.6%）が森林で、耕地は625km<sup>2</sup>（8.1%）であり、緑豊かな地勢で農地のほとんどは火山性特殊土壌である。海岸線は総延長400kmで北部と南部で一部屈曲に富んでいるが中部は平坦な砂丘地帯である。

平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有している。降水量も多く広大な森林と相まって豊富で良質な水資源に恵まれている。

一方、大消費地から遠隔地にあるなど、輸送面で不利な条件はあるが、令和4年度からは新造の大型カーフェリー2隻が就航し、大消費地へ多くの農畜産物が輸送されるなど、宮崎県農業の重要な役割を担っている。

産業構造は、県内総生産（令和4年度：3兆7,669億円）を産業別にみると、第1次産業が1,834億円（4.9%）、第2次産業が9,300億円（24.7%）、第3次産業が2兆6,107億円（69.3%）となっている。

農業は、畜産や施設園芸といった土地集約型の経営品目が主力で、収益性の高い農業を展開し、農業産出額は近年増加傾向にあり、令和6年は3,725億円。（全国第7位、前年比0.1%増）。農業産出額は、肉用牛、ブロイラー、豚、米、きゅうり、ピーマン、生乳、鶏卵、かんしょ、トマトが上位10品目を占めている。林業は、全国に先駆けてスギを中心とする人工林資源が利用期を迎え、路網の整備や高性能林業機械の導入、木材の加工・流通体制の整備に取り組んだ結果、本県のスギ素材（丸太）生産量は34年連続して日本一となっている。

漁業は、北上する黒潮と、南下する沿岸水により複雑な海況となっており、沿岸はイワシ、アジ、サバ類等の好漁場となり、沖合にはカツオ、マグロ類の漁場が形成されている。「近海かつお一本釣」による漁獲量は、平成6年から連続で日本一の地位を保っている。

令和6年度の農畜水産物の輸出額は、約121億円（前年度比106%）で13年連続で過去最高を更新した。輸出額全体の75%を畜産物が占め、その内、牛肉が約88億円（同105%）と増加。

水産物では、米国向け養殖ブリ等の販売が好調で、約18億円（同115%）。

農産物は、茶やかんしょが増加し、約13億円（同120%）。

輸出先国・地域別の輸出額では、米国が約33億円で最も多く、次いで台湾、香港、EU、シンガポールとなっている。

## 主な農林水産物

## 肉用牛

第12回「全国和牛能力共進会」において「宮崎牛」は内閣総理大臣賞を4大会連続で受賞。

平成29年12月にGI登録。

大相撲の優勝力士には、宮崎県知事賞として宮崎牛1頭分が毎場所贈呈されている。（飼養頭数全国3位）



## 豚

安心安全な県産豚肉「宮崎ブランドポーク」など、高品質で特徴ある豚肉生産を推進。（飼養頭数全国3位）



## ピーマン

全国有数の冬春ピーマン産地。ビタミンCの含有量が高く、「みやざきビタミンピーマン」として健康に着目した販売にも取り組む。（収穫量全国2位）



## きゅうり

鮮度抜群の「ワンタッチきゅうり」など、高い生産技術により年間を通じ高品質で安定した量を出荷する一大産地。（収穫量全国1位）



## スギ

森林資源の充実や全国トップクラスの生産基盤を背景に、スギ素材（丸太）生産量は、平成3年以降連続して日本一を誇る。



## ブロイラー

年間1億羽以上を出荷し、多くの関連産業や雇用面から、地域経済を支える基幹品目。

（飼養羽数全国2位）



## マンゴー

品質にこだわり、樹上完熟し自然落果したものだけを収穫。ブランド「太陽のタマゴ」は全国的に高い認知度を誇る。（収穫量全国2位）



## きんかん

完熟きんかん「たまたま」は、大玉で糖度16度以上と甘く、生のままおいしく食べられる。（収穫量全国1位）



## かつお類・まぐろ類

近海かつお一本釣りによる漁獲量は、平成6年から連続全国一で、令和2年度日本農業遺産に認定される。

まぐろ延縄漁業も沿岸で1位、近海で2位と全国上位の漁獲量を誇る。



## うなぎ（養殖）

温暖な気候と豊富な地下水を活かした養殖が発展。宮崎方式と呼ばれる養殖池で安定した水質と疾病予防効果により、高い生産性と高品質なウナギの生産が可能。（収穫量全国3位）

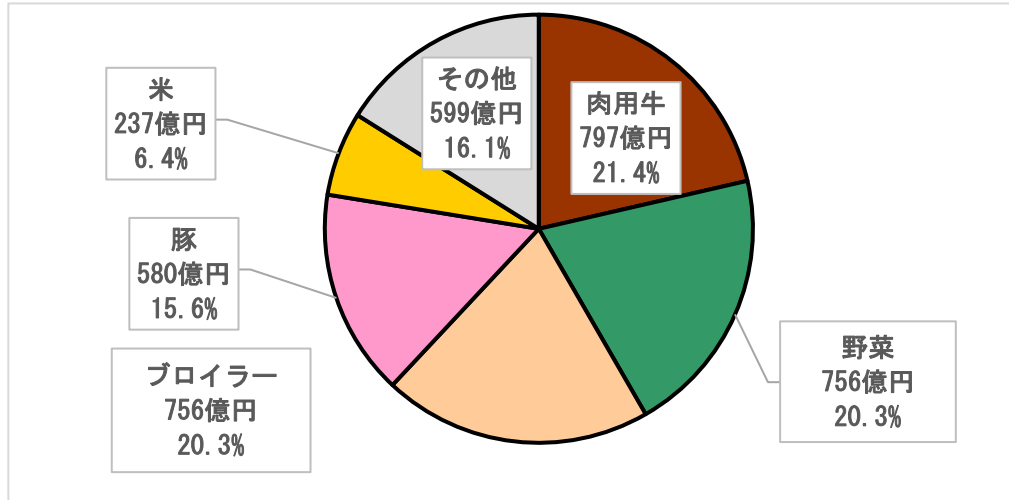




# 宮 崎 県 の 農 業 ( 1 )

- ・ 農業産出額は3,725億円で全国7位。うち米が237億円(6.4%)、野菜が756億円(20.3%)、畜産が2,344億円(62.9%)。
- ・ 農畜産物の生産状況は、きゅうり、キンカン(金柑)、ヒュウガナツ(日向夏)が全国1位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	宮 崎 県	全 国	全国順位
きゅうり	収穫量	R6 58,700 t	502,900 t	1
ピーマン	収穫量	R6 24,300 t	143,000 t	2
肉用牛	飼養頭数	R7 248,400 頭	2,595,000 頭	3
豚	飼養頭数	R6 721,900 頭	8,798,000 頭	3
ブロイラー	飼養羽数	R6 28,155 千羽	144,859 千羽	2 *
マンゴー	収穫量	R5 1,256 t	3,803 t	2
キンカン(金柑)	収穫量	R5 2,734 t	3,667 t	1
ヒュウガナツ(日向夏)	収穫量	R5 3,148 t	5,635 t	1
にがうり	収穫量	R4 2,520 t	16,200 t	2 *
ズッキーニ	収穫量	R4 2,620 t	10,600 t	2

出典: 「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

## 農業産出額のデータ

区 分	宮崎県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	3,725 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	7
米	237 億円 (6.4)	25,524 億円 (23.7)	34
麦類	0 億円	582 億円	27 *
雑穀	0 億円	87 億円	26
豆類	0 億円	621 億円	38
いも類	81 億円	2,565 億円	6
野菜	756 億円 (20.3)	25,510 億円 (23.7)	13
果実	148 億円 (4.0)	10,112 億円 (9.4)	16
花き	78 億円	3,423 億円	13
工芸農作物	27 億円	1,577 億円	9
その他作物	16 億円	583 億円	10 *
畜産	2,344 億円 (62.9)	36,654 億円 (34.0)	3
肉用牛	797 億円	7,861 億円	3
乳用牛	98 億円	10,035 億円	15
生乳	88 億円	8,937 億円	16
豚	580 億円	7,567 億円	3
鶏	868 億円	10,170 億円	3
鶏卵	82 億円	5,764 億円	23
ブロイラー	756 億円	4,259 億円	2 *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	32
加工農産物	38 億円	565 億円	5

出典: 「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注: ( ) は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「\*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 宮 崎 県 の 農 業 ( 2 )

- ・耕地面積は6万2,500haで全国20位。うち田が3万3,400ha、畑が2万9,000ha。
- ・農業経営体数は1万6,929経営体で全国23位。うち法人経営体数が815経営体で14位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は7,133経営体で全国10位。うち法人数が841法人で8位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が17億円で全国5位、事業体数は30事業体で16位。

## 耕地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
耕地面積	62,500 ha	4,272,000 ha	20
田	33,400 ha	2,319,000 ha	29
畑	29,000 ha	1,952,000 ha	15
普通畑	24,500 ha	1,118,000 ha	13
樹園地	3,480 ha	248,600 ha	20
牧草地	1,100 ha	585,900 ha	16
参考) 総土地面積	7,734.16 km <sup>2</sup>	377,979.74 km <sup>2</sup>	14

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,091 ha	256,667 ha	31

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農業経営体数	16,929 経営体	836,054 経営体	23
法人経営体数	815 経営体	33,819 経営体	14
総農家数	24,296 戸	1,394,135 戸	26
販売農家数	16,213 戸	792,808 戸	22
参考) 世帯総数	470,055 世帯	55,830,154 世帯	34
集落営農数	92 集落営農	13,952 集落営農	36

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	36,600 ha	2,627,068 ha	17
集積率	58.6 %	61.5 %	12

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	23,976 人	1,036,228 人	20
男	14,547 人	659,332 人	21
女	9,429 人	376,896 人	18
65歳以上	14,943 人	721,311 人	23
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	62.3 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	7,133 経営体	212,136 経営体	10
法人数	841 法人	29,684 法人	8
参考) 人口総数	1,069,576 人	126,146,099 人	35

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	53,881 百万円	1,006,107 百万円	4
	事業体数	500 事業体	26,910 事業体	24
農産物直売所	総額	22,553 百万円	1,134,381 百万円	19
	事業体数	320 事業体	20,960 事業体	28
観光農園	総額	275 百万円	39,113 百万円	35 *
	農業経営体数	30 経営体	4,350 経営体	37
農家民宿	総額	34 百万円	4,933 百万円	26 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	1,723 百万円	39,900 百万円	5 *
	事業体数	30 事業体	1,390 事業体	16

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 宮 崎 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は287.5億円で全国4位。うち木材生産が235.0億円、栽培きのご類生産が50.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国2位、すぎ、木質粒状燃料が全国1位、乾しいたけが2位、白炭が3位、乾きくらげ類が5位。

## 林業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業産出額	287.5 億円	4,769.8 億円	4
木材生産	235.0 億円	2,369.4 億円	2
栽培きのご類生産	50.5 億円	2,322.7 億円	9

出典：「令和6年林業産出額」

## 林野面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林野面積	583,727 ha	24,744,214 ha	13
国有林	174,708 ha	7,117,059 ha	10
民有林	409,019 ha	17,627,155 ha	15
人工林面積	329,665 ha	10,059,386 ha	8

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,545 経営体	23,300 経営体	2
法人経営体数	191 経営体	3,813 経営体	2

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,899 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	2
針葉樹	1,882 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	2
すぎ	1,733 千m <sup>3</sup>	11,716 千m <sup>3</sup>	1
ひのき	148 千m <sup>3</sup>	3,019 千m <sup>3</sup>	7
広葉樹	17 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	19
乾しいたけ	生産量 270 t	1,574 t	2
白炭	生産量 186 t	2,637 t	3 *
乾きくらげ類	生産量 9 t	131 t	5 *
木質粒状燃料	生産量 31,315 t	151,868 t	1 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 製材工場数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
製材工場数	117 工場	3,547 工場	9
製材用素材の入荷があった工場数	117 工場	3,492 工場	8
国産材のみ	106 工場	3,013 工場	6
国産材と輸入材	11 工場	386 工場	11

出典：「令和6年木材統計」

# 宮 崎 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は388億円で全国12位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のびんながが全国2位、かつおが5位、海面養殖業のかんぱちが3位、ぶりが4位、内水面養殖業のうなぎが3位。
- ・ 漁業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が10億円で全国4位、事業体数は10事業体で8位。

## 漁業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	388 億円	14,785 億円	12
海 面 漁 業	249 億円	8,894 億円	8 *
海 面 養 殖 業	140 億円	5,891 億円	14 *

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	812 経営体	65,662 経営体	28
内水面漁業経営体数	76 経営体	4,076 経営体	15

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,996 人	121,389 人	21
男	1,922 人	109,757 人	21
女	74 人	11,632 人	24

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,212 隻	109,284 隻	29
動力漁船	1,022 隻	58,907 隻	21

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	95,999 t	3,589,121 t	9 *
海面漁業漁獲量	82,299 t	2,786,195 t	8
びんなが	6,190 t	26,849 t	2 *
かつお	16,493 t	241,653 t	5 *
海面養殖業収穫量	13,700 t	802,927 t	19 *
ぶり	10,130 t	103,780 t	4
かんぱち	1,979 t	23,344 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	2,879 t	47,046 t	6 *
内水面漁業漁獲量	26 t	17,915 t	24
あゆ	5 t	1,414 t	20
内水面養殖業収穫量	2,853 t	29,131 t	4
うなぎ	2,635 t	16,674 t	3

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	12,493 百万円	193,147 百万円	4
	事業体数	20 事業体	1,160 事業体	18
水産物直売所	総額	738 百万円	34,259 百万円	16 *
	事業体数	10 事業体	780 事業体	18
漁家民宿	総額	26 百万円	5,440 百万円	27 *
	漁業経営体数	10 経営体	540 経営体	13
漁家レストラン	総額	1,011 百万円	13,511 百万円	4 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 宮崎県の農林水産業の話題等

## 世界農業遺産・日本農業遺産

### ○世界農業遺産（平成27年度）

#### 高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム（高千穂郷・椎葉山地域）

険しく平地が少ない山間地において、和牛や茶の生産、棚田での稲作、焼き畑、針葉樹による木材生産と広葉樹を活用したしいたけ栽培等、多様な農林業を組み合わせたシステム。森林等の自然景観と農林業の調和が図られ、生物多様性が保全されている他、五穀豊穡を願う神楽などの伝統文化も継承。

令和7年10月31日には、高千穂町で世界農業遺産認定から10周年の記念シンポジウムが開催され、関係者や地域住民など約200名が出席。認定から10年の歩みを再認識するとともに、当地域の価値を未来に繋いでいく思いを新たにしました。



10周年記念シンポジウム

### ○日本農業遺産（令和2年度）

#### 造船材を産出した飫肥林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」（日南市）

約300年間続く伝統漁法のかつお一本釣り漁業が水産資源の保全につながる漁法であることや、かつては地域で生産される飫肥杉が漁船に使われるなど、漁業と林業を合わせたシステムであることが認められた。漁業者も整備に協力する飫肥杉の山々から栄養塩が流れ込む豊かな海で、かつおの餌を畜養するなど、現在においても林業と漁業が密接に関連している。

#### 宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の高度利用システム（田野・清武地域）

耕畜連携により、土作りを行いながら約100年前から大根を干し野菜に加工して、地域の収益の安定につなげ、大根を干すやぐらの景観も観光資源などに生かした地域全体の取組が評価された。乾燥した冬の西風を利用して大根を干す「大根やぐら」が特徴的な冬季景観を形成。



仙人の棚田（椎葉村）



かつお一本釣り（日南市）



大根やぐら（田野町）

## 暑さに強い米の新品種『ひなた舞』

宮崎県総合農業試験場は、本県の主力品種である「ヒノヒカリ」の品質が、地球温暖化の影響により不安定化していることから、高温条件下でも品質や食味が優れる新たな品種として「南海189号」を育成。

品種名は、応募（約4,000件）の中から品種名検討委員会で「ひなた舞」に決定。国への品種登録の出願が受理されたことから、令和8年1月14日に発表。

「ひなた舞」は、県内普通期水稻の作付地域において栽培を推進し、令和9年産からの本格販売を予定している。

### 「ひなた舞」の命名イメージ

- ◆ 舞い上がるほどのおいしさや、米粒が立って舞っている様子
- ◆ 音の響きが良く、米と舞をかけられる
- ◆ 神楽が連想され、宮崎らしい打ち出しができる



『ひなた舞』を発表する河野宮崎県知事



暑さに強い米の新品種『ひなた舞』